



堺市社会福祉事業団だより

Vol.58

児童発達支援センターが一元化されました	1
事業団NEWS1 ～地域とのつながり～	2
堺市立健康福祉プラザNEWS 春のプラザ祭り ほか	3
事業団NEWS2 児童発達支援センター保護者アンケート	4・5
事業団NEWS3 令和6年度 入園式 ほか	6

令和6年(2024年)9月
発行：社会福祉法人
堺市社会福祉事業団
TEL：072-294-7943
FAX：072-298-0216

児童発達支援センターが一元化されました

令和6年4月の児童福祉法改正により児童発達支援センターが一元化され、これまでの「第1つぼみ園」と「第2つぼみ園」が「つぼみ園」に、「第1もず園」と「第2もず園」が「もず園」になりました。また、児童発達支援センターの中核的機能強化が求められており、地域の関係機関との連携のもと新たな取組も

始めています。

今後も、市民ニーズに即した療育、こども達が地域で生き生きと生活できるように支援を着実に進めてまいりますので、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いします。

理事長 山本甚郎

児童発達支援センターを中核に、身近な地域でニーズに応じた必要な発達支援が受けられる体制整備を進めるとともに、地域の障害児支援の質の向上とインクルージョンの取組を推進していくことが求められています。

南北こどもリハビリテーションセンターでは、これまでの取組をこの中核機能の4つの柱に基づいて拡充させていきます。

幅広い高度な専門性に基づく 発達支援・家族支援機能

- ・就園・就学など進路選択に活かせる発達検査の実施
- ・旧「医療型」通所施設の3歳児以上の単独通園を週5日へ拡大
- ・外部講師・専門職種による保護者学習会の開催
- ・祖父母やきょうだいなど保護者以外の家族が療育を見学、参加する機会の拡充

地域の障害児通所支援事業所に対する スーパーバイズ・コンサルテーション機能

- ・地域の障害児通所支援事業所、幼稚園、小学校等関係機関での研修(出前講座)の実施
- ・施設見学会の開催
- ・研修会と交流会の開催、参加する機会の拡充

地域のインクルージョン推進の中核機能

- ・地域への施設開放(園庭開放、土曜日クラブ、にじいろクラブ等)
- ・保育所等訪問支援事業
- ・個々の課題に応じた並行通園クラスの運営と在籍園訪問の実施
- ・施設支援・出前講座の実施

地域の発達支援に関する入口としての 相談機能

- ・充実した相談機能
 - *相談支援室もず・相談支援室つぼみ、あい・すてーしょん、療育の窓おおぞら
 - *もず園・つぼみ園での園庭開放、土曜日クラブ、にじいろクラブ
- ・保健センターや医療機関、基幹相談支援センター等との連携による早期の相談対応から適切な療育支援へつなげていく(ぺんぎんクラス、にここ広場)

相談・申込窓口のご案内

- ◆療育の窓 おおぞらでは右記の施設の利用について相談を受け付けています。
療育の窓 おおぞら TEL.072-294-7943 FAX.072-298-0216
- ◆もず園・つぼみ園のあい・すてーしょんでは発達や療育の相談を受け付けています。
もず園 TEL.072-279-0500 FAX.072-270-2126
つぼみ園 TEL.072-299-2031 FAX.072-299-2100

つぼみ診療所・もず診療所
児童発達支援センター つぼみ園・もず園

～ 地 域 と の つ な が り ～

私立幼稚園教諭の研修

6月27日（木）に私立幼稚園連合会主催の児童発達支援センター見学会と研修がもず園で行われました。42名の幼稚園教諭の方が参加されました。

見学会では、センターの職員から療育で用いている教材や取り組みの説明などを行いました。見学会の後は各グループに分かれて意見交流会を行い、就学を見据えた取り組みや支援の必要な子どもへの対応方法などさまざまな意見が出されました。今後も幼稚園の先生方と一緒に地域の子どもたちへの支援に取り組んでいきたいと考えています。



施設支援・出前講座

こども園や保育園、幼稚園からの依頼による施設支援を行いました。園での子どもの様子をみながら支援方法など一緒に検討しています。また、出前講座として、保育園や放課後児童対策事業の研修で心理士が「発達障害の理解と対応」について講義したり、子育てアドバイザー対象の研修で理学療法士が「乳幼児期の運動あそびや発達について」、地域の子育てサロンの研修で言語聴覚士が「ことばとコミュニケーションの発達」、看護師が「睡眠」について講義を行いました。セラピストや看護師など多様な職種の派遣を求められるようになっていきます。



堺市の障害児相談支援事業所交流会「みのりの会」の研修

今年度から当事業団が事務局としてサポートしています。今回の研修では「相談支援員にとって児童発達支援センターってどんなところ？」をテーマにセン

ターの紹介や交流会、見学会を行いました。44名の参加があり、交流会では相談支援員同士、悩みや課題等を話し合いました。

「障害者のためのアートスクール」をご紹介します！

市民交流センターの文化芸術教室事業として実施している「障害者のためのアートスクール」は、知的障害や精神障害、ダウン症、発達障害等のさまざまな障害のある方が参加されています。

絵画や版画、粘土造形等、毎月テーマを変えながら、創作活動を楽しまれています。

みなさん個性豊かで、自分の好きなテーマを描き続ける方、大胆に描く方もいれば、細かく緻密に描くことを好まれる方等、それぞれの個性や好みが作品に表れていて、とても素敵で面白いです。

アートスクールに継続的に参加されている方に感想を聞いてみました。「発達障害（自閉症スペクトラム）と知的障害があり、日頃は障害者枠で事務職として会社勤めをしています。アートスクールに参加する前は創作活動に触れる機会が少なく、参加後もしばらくは自由に製作するということを難しく考え、何を作ったらいいのかと戸惑っていました。でも、講師の先生のアドバイスを受け、とりあえず作っていく中で、少しずつ作品のイメージを固めていくという過程を楽しめるようになりました。これからも楽しみながら、いろんなことにチャレンジしていきたいです。」と参加してからの変化とポジティブな気持ちを聞かせていただきました。

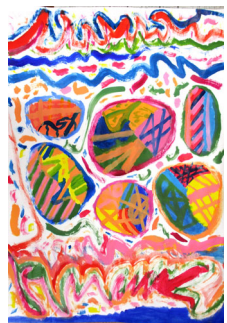
参加者の中にはコミュニケーションをとることが難

しい方もいますが、言葉では表現できない思いや気持ちを作品に込め、表現されている姿はとてもエネルギーで、生き生きとされています。

アートスクールで完成した作品は、毎年10月にプラザで開催している「sakai ARTcation」（障害のある方の作品展）に出展しています。

アートスクールの参加者は、それぞれ違った個性や感性がとても豊かで魅力があります。その個性や感性、思いがギュッと詰まった素敵な作品を、たくさんの方に観ていただきたいので、ぜひ、「sakai ARTcation」にお越しください。

また、アートスクールは作品作りだけではなく、参加者同士の交流も目的にしています。これからも新しい交流が生まれ、魅力を持った仲間に出会えることを楽しみにしています。



春のプラザ祭り

令和6年4月20日（土）堺市立健康福祉プラザにて開催。約580名の方々にご来館いただきました。

今回も障害のことが理解できる体験コーナーなどを設けました。

○バリアフリー映画「きみの瞳が問いかけている」の上映

○車いすポートボール体験

○手話での絵本の読み聞かせや点字体験

○認知エクササイズ

などをたくさんの人にご観覧・ご体験いただき、楽しんでいただきました。

また、第13回堺市授産製品コンクール『堺市長賞』の授与式も同日に開催。

雑貨部門及び食品部門で受賞された各事業所からたくさんの方々に参加いただき、賞状等を受け取っていただきました。みなさん緊張した面持ちでしたが、喜んでいただけました。

また、「トレーニングプログラム体験会」・「点字図書館が分かる！体験」・「ミニ手話教室」

「筆談体験」・「聴覚サポート機器体験」・「タイルクラフトでコースターづくり」・「お遊びコーナー」・「パッセ販売会」・「日用品バザー」・「減農薬野菜販売」・「焼きたてパン販売」・「キッチンカーと屋台」など、多くの方々に彩を添えていただき、盛り上げていただきましたので、ご来館された皆様には春のプラザ祭りを楽しんでいただけたと思います。

今回、市長・副市長も来てくださり、全てのコーナーをご覧いただきました。ご協力いただきました皆様、ご来館いただきました皆様、ありがとうございました。



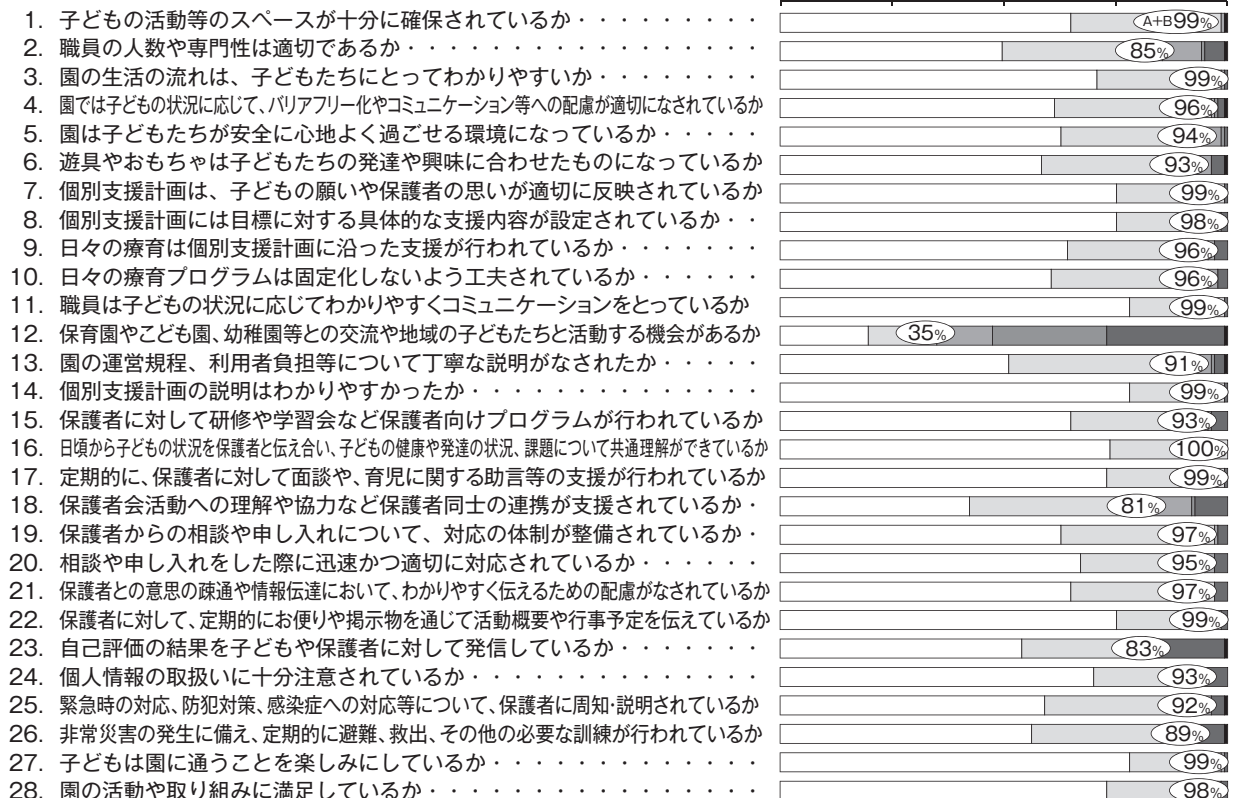
令和5年度保護者アンケート(4園と並行通園)の集計結果

※グラフの薄い色は高い評価を濃い色は低い評価を示しています。

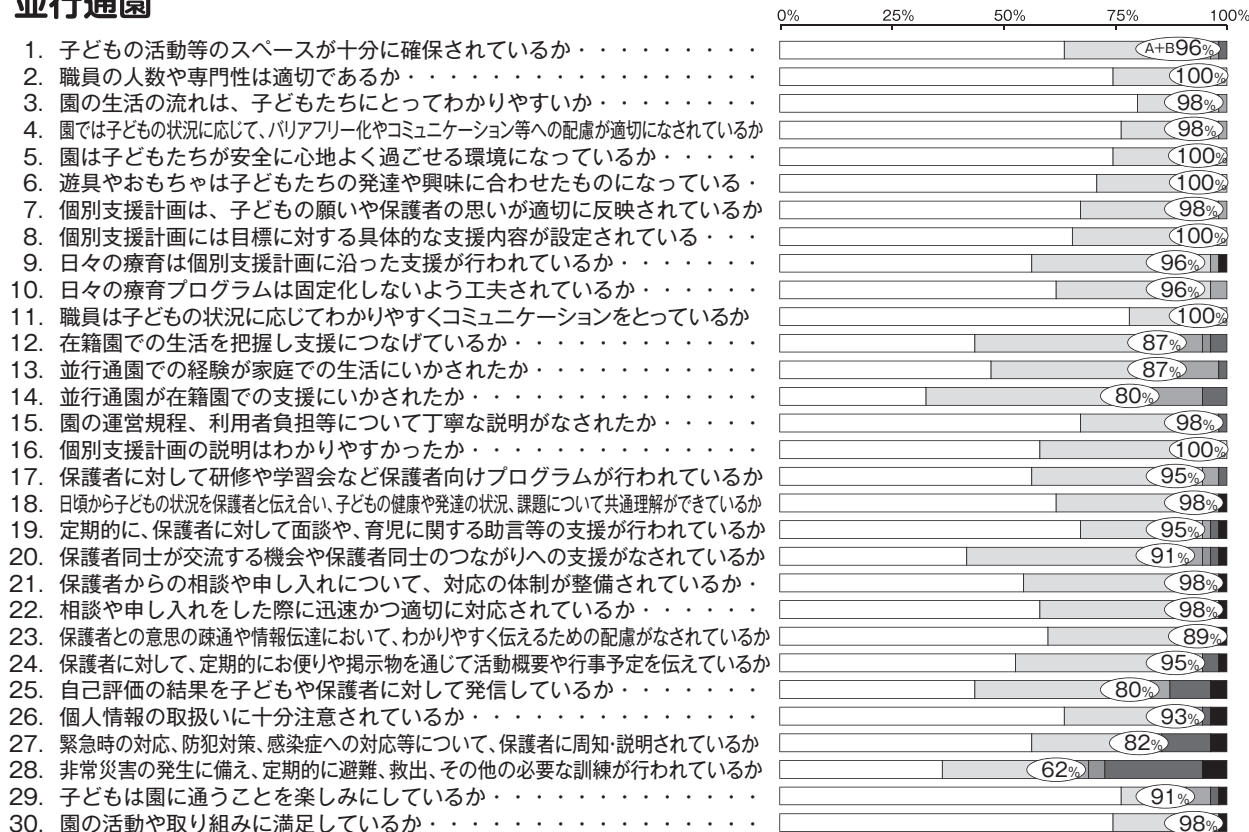
※A+Bの合計%を表示しています。

☐ Aよくあてはまる ☐ Cあまりあてはまらない ☐ Eわからない
☐ Bややあてはまる ☐ Dまったくあてはまらない ☐ F:無回答

毎日通園

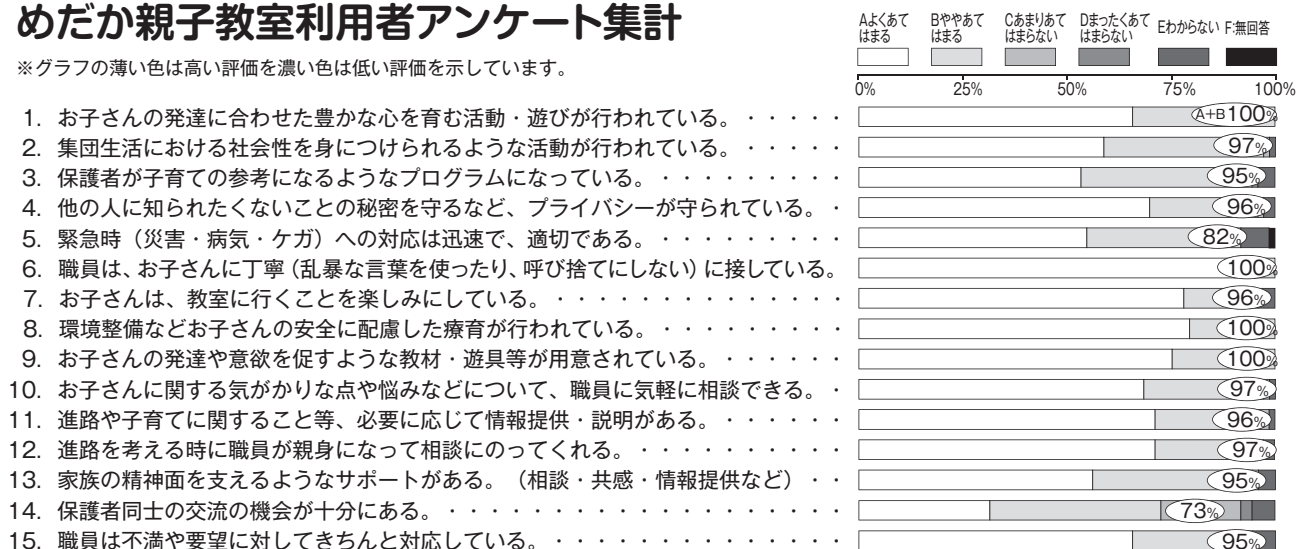


並行通園



めだか親子教室利用者アンケート集計

※グラフの薄い色は高い評価を濃い色は低い評価を示しています。



☆アンケート結果より

266名の保護者から回答をいただきました。

項目は「(A) よくあてはまる」「(B) あてはまる」「(C) 「あまりあてはまらない」(D) 「あてはまらない」(E) わからない」の5つです。

児童発達支援センター、毎日クラスにおいては、(A) + (B) の割合が28項目中27項目で80%以上となり、全項目平均は92.6%でした。今年度も個別支援計画に基づいた療育内容やお子さんへの直接支援については、概ね高い評価を得ています。(A) + (B) が80%に達しなかったのは、地域のこども園等との交流の有無の項目でした。この項目については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったことから、ここ数年どうしても評価が低くなっています。今年度から近隣のこども園との交流を少しずつ再開していく中で前年度より14ポイント増加させることができましたが、今後より開催頻度等を検討していきたいと考えています。

次に、並行通園クラスでは、(A) + (B) の割合が30項目中29項目で80%以上となっており、全項目平均は93.3%でした。毎日クラスと同様に個別支援計画に基づいた療育内容やお子さんへの直接支援については概ね高い評価を得ている一方、(A) + (B) が80%に達しなかった、非常災害の備えの項目については、避難訓練等について説明する機会等を作っていく中で前年度以上の評価をいただきましたが、今後とも引き続き丁寧に取り組んでいきます。

めだか親子教室は、ほとんどの項目について高い評価を頂いていますが、児童発達センターと同様に保護者同士の交流の充実を更に進めることが求められています。

今後ともこの結果をもとに、引き続き質の高い療育を提供していくとともに、利用者のニーズに応じていきたいと考えています。またホームページやフェイスブック等も活用しながら分かりやすい情報発信を心がけ、保護者の信頼に応えられるよう努力してまいります。

理事会を開催しました

6月10日（月）理事会、6月25日（火）評議員会が開催されました。令和5年度事業報告・決算報告、役員・評議員の選任および規則・規程等の改正等について審議がありました。



令和6年度 入園式

令和6年度のつぼみ園、もず園の入園式が4月4日(木)に行われました。もず園は20名、つぼみ園は18名の合計38名の子どもたちが新しい園生活をスタートしました。



土曜・日曜参観

もず園は6月1日(土)に、つぼみ園は6月30日(日)に参観が行われました。ご家族の方にたくさん参加していただき賑やかな参観となりました。ありがとうございました。



わくわく保育

年長児がわくわくするような活動に取り組みながら夜まで過ごします。

みんなで電車に乗って屋内遊び場や図書館に出かけたり、きれいな花火を見ました。笑顔をたくさんみせてくれたりたくましい姿をみせてくれました。



編／集／後／記

こどもリハビリテーションでは、指定管理者として令和6年度から第5期目に入りました。また児童発達支援センターでは、4月の児童福祉法改正を踏まえ、福祉型・医療型の一元化や地域の障害児支援の質の向上に向けた取り組みなど始まりました。

これまで積み上げてきた実績を土台に、地域の機関とも連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

(療育の窓 おおぞら 所長)

社会福祉法人 堺市社会福祉事業団

堺市立南こどもリハビリテーションセンター
つぼみ園 TEL 072-299-2031
FAX 072-299-2100
つぼみ診療所 TEL 072-294-7941
相談支援室 つぼみ TEL 072-294-7944
療育の窓 おおぞら TEL 072-294-7943
FAX 072-298-0216
事業団事務局(南リハ内) TEL 072-294-7942
FAX 072-298-2032

堺市立北こどもリハビリテーションセンター
もず園 TEL 072-279-0500
FAX 072-270-2126
もず診療所 TEL 072-279-3768
相談支援室 もず TEL 072-279-3668

堺市立健康福祉プラザ
市民交流センター TEL 072-275-5017
FAX 072-243-0330
授産活動支援センター TEL 072-275-5018
FAX 072-243-0330
生活リハビリテーションセンター TEL 072-275-5019
FAX 072-243-0202

堺市立健康福祉プラザは『社会福祉法人堺市社会福祉事業団』『特定非営利活動法人堺障害者団体連合会』『公益財団法人フィットネス21事業団』の共同事業体が、指定管理者となって管理・運営を行っています。